



善正寺だより

〒:512-0902
 三重県四日市市
 小杉町1014
 浄土真宗
 本願寺派
 善正寺
 ☎:0593-31-1670
 ☎:0593-32-0733

掲示板法話

念仏は仏の我を喚ぶ声

念仏申すままが仏道を歩む人生

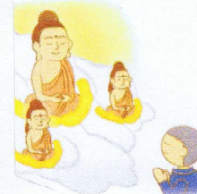
五月一日より、新しい「令和」の時代が始まりました。

「平成の時代が戦争のない時代であったことがよかった」と平成の天皇陛下が言われたそうです。令和の時代も真に平和な時代であって欲しいと切に思います。

だが、近年情報通信の技術革新がどんどん進み、便利にはなった反面、新聞を読まない、本も読まないという人が増えていきますし、「フェイク・ニュース」(偽情報)も紛れ込んで、知識ある悪魔が跋扈して詐欺が横行し、地球上はサイバー戦争の様相です。

平和を乱す根本原因はまさに我々の心の中に隠されていることを知らねばなりません。でも「わかっちゃいるけど止められない」のが我々人間の性(さが)です。いつ切れたり、暴発するかもしれない危うさを持ち合わせているから、争いの芽が絶えることはありません。みんな死の恐怖にさらされているのです。

ある女性が法座の座談の場で、自身の「臨死」体験を話されました。早期、



「様子が変だ」と気づいたご主人が救急車を呼んで入院、五日間生死の境をさまよった頃のことです。「金色の世界に入り込み、その先に亡き舅さんが金色の杖をついて招いているような夢の世界だった」というのです。

その病氣から奇跡的に回復されたから、「いつ死んでもおかしくない命だと気づきました。主人が後3分気づくのが遅れたら助からなかったそうです。せつかく命拾いさせてもらったのだから、一日一日を『おかげさま』と心穏やかに生きさせてもらわなければ申し訳ない、と思うようになりました」と述べられました。

同じ臨死体験でも「真つ暗闇の中に入ってしまった」という人もあるようで、「金色の世界を亡きお舅さんと一緒に夢で見られたのは、お寺に参ってお浄土の話をいつも聞いて下さっているお蔭ですね」と仏縁を喜ばせて頂きました。

「煩惱具足の凡夫、火宅無常の世界はよるずのこと、みなもつてそら」とは「と、まことあることなきに、た

だ念仏のみぞまことにておはします」(歎異抄)。これは親鸞聖人の常の言葉です。煩惱に名前がついているばかりの私たちの世界は、変化してとどまらず、ただ如來の世界から恵まれたお念仏だけが真実であります。お念仏は、仏の我を喚ぶ声であり、私が念仏申す時、私の中に阿彌陀仏の心が流れ込んで「真心」(真実誠満の心)に満たされて、お念仏申すままが仏道を歩む人生となるのです。

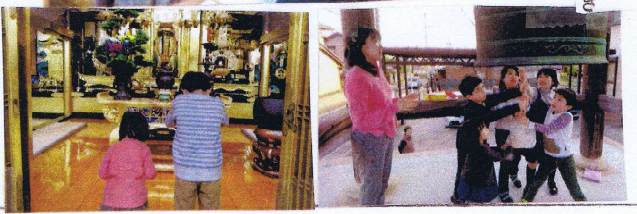


『令和』最初の写真アラカルト

春の永代経のお参り風景



皆仲良く力合わせて
夕方5時の鐘撞き



本堂で孫が行堂参拝の真似

☆行事ご案内☆

◇善正寺門信徒総会

5月19日(日)午前10時



真宗宗歌、門信徒会長、門徒総代、住職挨拶
 30年度行事、決算、監査報告、令和元年度行事計画
 予算案審議、最近の宗教事情と寺院活動、運営課題等
 恩徳讃、昼食用意、新旧行事交替、
 出欠表、委任状回収します!

◇絵手紙教室 5月14日(火) 午前10時庫裏食堂43回目
 小杉郵便局にも展示、川崎光子先生「下手でいい下手がいい」

◇キッズサンガ 5月11日(土) 4時、新しいお友達大歓迎
 鐘撞きは毎日夕方5時年中無休、子供に心の教育を!

◇お寺で「歌声喫茶」4月23日(火) 午後1時庫裏食堂

◇三重組十三日講
 5月13日(月) 午前・午後、菰野正念寺様

◇善正寺ホームページ「三重善正寺」で検索、過去1年分の寺報閲覧可、**毎日更新のブログ住職と坊守のつれづれ日記**が大好評! 開設10年9か月で累計29万訪問突破、コメントメール相談、お悩み相談など大歓迎! 即返信。

◇一緑会テレホン法話TEL059-354-1454へお電話下さい。
 三重組5か寺の僧侶、若院、坊守が週替りで3分法話

◇新納骨堂: 後継者の無い方、お墓でお困りの方ご相談下さい

◇法事場所でお困りの方、寺にご相談下さい、本堂使用可

坊守スケッチ

新元号フリーバー



いよいよ令和の時代の幕開けです。人心が一新されて、日本国民が明るい希望に包まれています。

元号の始まりは645年の大化改新です。大化から令和までの1374年間で248もの元号が変わりました。平均5年半に一度で改元。その理由は災害、干ばつ、疫病などの天変地異です。最短の元号は歴任の2か月。最長は昭和の62年で、平成は4番目に長い元号です。

明治の元号は、天皇のくじ引きで決められたそうです。岩倉具視が3個の案を献上して引かれた札が明治。新政府が天皇の權威を高める狙いがあったと思われる。

4月末で退位される平成天皇・皇后両陛下が歩まれたテレビ番組が度々報道されて、興味深く拝見しました。敗戦後「国民の象徴」になられた昭和天皇の遺志を引き継ぎ、戦地へ慰霊の旅を続けられました。また全国の被災地へも頻繁に通われて、常に国民に寄り添われた姿勢を尊く思いました。

私が一番感動したのは、退位される天皇陛下の記者会見で「私が今まで歩いてくれた皇后のおかげです」というお言葉。とかく孤独なお立場の天皇陛下ですが、美智子様と出会われ、お妃様に選ばれたことで、温かい心の窓が開かれたのではないのでしょうか？



いつも仲良し兄妹です。兄は水泳とお絵描きが得意。妹は縄跳びと歌が大好き。小2と年中組になりました。

美智子皇后様も慣れないしきたりの皇室に嫁がれて、筆舌に尽くし難いご苦労があったと思います。時には根も葉もない週刊誌報道に晒されて、失語症を患われました。天皇陛下の深い愛情に包まれて乗り越えられました。

両陛下はいつも仲睦まじく、まさしく「夫婦の鑑」です。令和の「新天皇」夫妻も常に国民に寄り添い、温かいご家庭を築かれますことを念じています。

ところで歴史上どんなに元号が変わっても、800年以上に渡って変わらないうのが、親鸞さまの『お念仏』の教えです。戦乱の世も大飢饉や大災害の時も、お念仏に出会って人々は救われました。どうか新しい時代も生きる支えとしてお念仏の教えを聞きましよう。

寄稿

落椿踏まぬようにと端通る 釋妙水

春光やクレヨン持つ掌顔描く

着物袴も今風なる卒業式 釋清風

花粉症のマスク大きく登校児

陽に抱かれ泣きて笑ひて卒業子

上着脱ぎ駆けまわる子や日脚伸び

花は花早や宴会の陣取りて

☆若院夫婦の「青自な日記」53

新しい元号が発表になり、間もなく「令和」の時代が始まります。私は昭和の生まれですので、三つの時代を生きたことになりました。とは言っても、五歳で平成を迎えたのであまり昭和の記憶はありません。改築前の実家や祖母の家、通っていた幼稚園など、記憶に残っている風景もありますが、私にとつての「昭和」はほとんど消えてしまいました。

平成の約三十年間は私の十代から三十代とほぼ重なり、その間に私をとりまく環境は大きく変化しました。

学生から社会人になり、母になったこと。地元を出て東京で大学生活を過ごし、四日市に嫁いできたこと。平成はまさに私の青春時代と言えます。

平成二十四年と二十六年生まれの我が家の長男と長女。彼らにとつては令和が青春時代になることでしょう。

令和時代が何年間続くかわかりませんが、それが終わる頃、彼らがどんな人間に成長しているでしょうか。親としてそれを見届けられるかどうかはわかりませんが、「令和」の意味にこめられているように、「明日への希望を咲かせ」つつ、その姿を想像してみました。改元にあたり、こうして自分の歴史を振り返りながら新時代を迎える準備ができることは、意義ある経験だと感じています。(若坊守)

カンパありがとう！

矢田たず様、他匿名様、頂戴しました。

お悔み申し上げます

服部昭三様(3月26日往生)・90歳
ホツトニユース

☆お寺で「歌声喫茶」4回目は4月23日(火)午後1時より庫裏食堂で。不定期ですが毎月1回開催。少人数ですが三味線やマンドリン、ギターに合わせ、童謡、懐かしの歌を皆で一緒に楽しく歌います。その後は茶話会。興味のある方はどなたでもご参加下さい。
※4月21日の門信徒会例会で新旧行事さん集合、新年度役員さんを選出。

令和元年度・善正寺主な行事案内

☆善正寺門信徒總會 5月19日午前

☆孟蘭盆会法要 8月15日朝8時半

☆秋季永代経 (8月17日・18日) 両日共午後、尼崎市 足利孝之先生

☆小杉町仏教会追悼法要 9月22日(日)午前10時・午後1時・相愛大学

教授・大阪池田市 釈徹宗先生(初)

☆報恩講 11月2日(土)午前と夜

3日(日)午前のみ。但し2日11時よりお非時接待。(講師) 京都るんびに

園理事長・藤大慶先生

☆秋勧進 11月23日午前8時

☆お内仏報恩講 12/7午前10時半

※毎月第3日曜日の夜7時半は例会

☆編集子より ☆

「善正寺だより」第305合をお届けします。◇平成の時代は、バブル崩壊で始まり、失われた十年とか二十年と言われ、就職氷河期でもありました。◇後世に付けを残さぬよう、危機管理が大切。人生の危機管理もさこそ思えばかり。合掌。

新元号に相応しい新緑の季節を迎えました。先日車の高
齢者講習の通知が来ました。同時に高齢者肺炎予防ワクチ
ン接種の案内も届きました。高齢者案内を受け取る度
に「老いを自覚させられました。堂々とシルバーシートに座り、シ
ルバー料金を利用して得した気分になる一方で、鐘撞きの
子供からドッジボールに誘われると童心に戻る矛盾した私
です。平均寿命は健康寿命よりも十年以上長いのですから、転
んで骨でも折ったら大変です。私の場合「いつまでもあると思
な
君さと健康」を戒めとします。40年前カレバパーティやキャンプに参
加した子供が亡き父上の寺参りに来て下さいました。懐かし
でお互い顔を見合わせました。「昔使っていたオレンジ色の
子供用聖典はありますか？ 楽譜付で便利です。父の
中陰法要で我が子にも教えたたいです」と尋ねられました。
「あ、仏法を伝えるとはこういう習慣の積み重ね、噴送
りの「たなあ」と気付かせて頂きました。毎日新聞の万能
川柳で「おむつ替え私のオムツ替えた人」が20¹⁸年度年間
準大賞に選ばれました。「わが子に迷惑をかけずにホッ
クリ死にたい」と誰しも思いますが、人生は自分の思い
通りにいかないのが常です。思い通りにならない苦の連
続だと覚悟してお念仏を申すですがと受け止めましょう。
たとえお世話を受けれる身になっても、介護する子供に仏
様の教えを伝えられる親になりたいものです。令和の時代
もよろしくご愛読下さいませ。合掌

令和元年五月

善正寺坊守拝